

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2023年 1月

福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座 富樫 一智

■ 研究課題名 重症潰瘍性大腸炎患者におけるタクロリムスによる寛解導入後の生物学的製剤の維持効果に関する研究

■ 研究期間 2023年1月 ～ 2024年3月

■ 研究の目的・意義 炎症性腸疾患に対する治療法は飛躍的に進歩し、多様化しています。重症潰瘍性大腸炎に対して、主にタクロリムスでの寛解導入療法を行うことが一般的ですが、寛解導入後の維持療法でタクロリムスを使用しないで、チオプリン製剤を使用することが治療指針で推奨されています。当院では、タクロリムスによる寛解導入後の維持療法において、生物学的製剤を使用し、寛解が維持される患者様を比較的多く経験しています。この研究では、タクロリムスによる寛解導入後の維持療法における生物学的製剤の有効性を明らかにすることを目的としています。

■ 研究対象となる方 2013年5月より2022年10月までの期間に重症の潰瘍性大腸炎のために、入院管理の上タクロリムスを導入した患者を対象としています。

■ 研究の方法 上記対象患者について、タクロリムス導入前後、生物学的製剤導入後における患者の臨床的重症度、内視鏡的重症度の推移を調査し、会津医療センターにおいて総合的な解析を行います。

■ 研究組織

この研究の研究事務局は会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座であり、研究責任者は会津

医療センター小腸・大腸・肛門科学講座 富樫一智です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一です。

・研究責任者

(所属) 会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座 (氏名) 富樫一智

・研究分担者

(所属) 会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座 (氏名) 愛澤正人

(所属) 会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座 (氏名) 歌野健一

(所属) 会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座 (氏名) 根本大樹

(所属) 会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座 (氏名) 中島勇貴

(所属) 会津医療センター附属病院 小腸大腸内科 (氏名) 鈴木康平

(所属) 会津医療センター消化器内科学講座 (氏名) 佐藤賢太郎

(所属) 会津医療センター消化器内科学講座 (氏名) 上田健太

(所属) 会津医療センター消化器内科学講座 (氏名) 澁川悟朗

■ 試料・情報の提供について

他施設に提供しません

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田21-2

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座
担当 愛澤正人

電話:0242-75-2100 FAX: 0242-75-2568

E-mail:aizawa-m@fmu.ac.jp

■ 情報の利用を望まれない場合の連絡先

試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

作成日： 2022年 11月 24日 (第1版)

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田21-2

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座

担当 愛澤正人

電話:0242-75-2100 FAX: 0242-75-2568

E-mail:aizawa-m@fmu.ac.jp